

「女子」に 選ばれる 地方

十六総合研究所
提言書
2022

ジェンダーギャップ^o解消が 地方を変える！

「女子」に選ばれる地方

2023年2月

カンダまちおこし株式会社
代表取締役社長 田代 達生

※本論の内容は必ずしも十六フィナンシャルグループ等、
所属団体の公式見解を示すものではありません。

田代 達生 (たしろ たつお) 自己紹介

- ◆1976年生、岐阜県岐阜市出身
 - 1999 京都大学文学部卒
 - 1999 十六銀行入行 支店・本部勤務
 - 2005 中小企業診断士登録
 - 2016年度 中部経済産業局企画課 地域経済分析システム (RESAS) 普及活用支援調査員
 - 2017 名古屋大学経済学研究科修士課程修了
 - 2017/9 十六総合研究所 主任研究員 飛騨国サテライト 岐阜県飛騨地方をフィールドに、人口減少下における ローカル経済を研究
 - 2022/4 十六フィナンシャルグループのまちづくり会社 カンダまちおこし株式会社設立 代表取締役社長に就任
- 現在46歳 妻、長男（10歳）との3人暮らし



Facebook ↑



郡上市石徹白 × 飛騨市古川町

元キャリア女子2人が語る“地方のリアル”

東京でのキャリアを経て岐阜県の中山間地に移住した“辺境女子”のお二人に「地方のリアル」を本音で語っていただきました。

平野醫生里さんは岐阜県岐阜市出身。2011年に人口約250人の岐阜県郡上市石徹白集落に移住し、地域に残る伝統的な野良着「たつけ」を現代風にアレンジした、特徴的なスタイルの衣料を製造販売する「石徹白洋品店」を運営しています。服を通じて先人の考え方や文化を発信し人を呼び込む取組みは、2022年「第12回地域再生大賞 準大賞」を受賞しました。

白石実果さんは長野県須坂市出身。2012年に岐阜県飛騨市に移住し、全国通訳案内士として、

飛騨にやってくる海外のゲストをガイドするプロとして活躍しています。コロナ禍のさなかに2021年飛騨発のバーチャルツアー「JAPONISME」を運営する株式会社 M&Company を立ち上げ、世界から注目を集めています。

本提言書では「地方のジェンダーギャップの大きさ」をテーマにしていますが、岐阜の「辺境」ともいえる過疎地域に住む彼女たちから見て、地方の慣習や日本における性別分業が残る社会制度は、果たしてどう映っているのか。地方が「女子」に選ばれるためには何が必要か。都会にはない地方ならではの暮らしの豊かさとは何か。話を伺いました。

(聞き手: 田代達生 (十六総合研究所 主任研究員))

平野 醫生里 ひらののり

- 1981年 岐阜県岐阜市生まれ
- 2004年 慶應義塾大学総合政策学部卒業
広報会社、イベント企画会社を経て、
- 2008年 結婚(現在は4児の母)
- 2011年 移住
- 2012年 石徹白洋品店設立
- 2017年 株式会社化

白石 実果 しらいみか

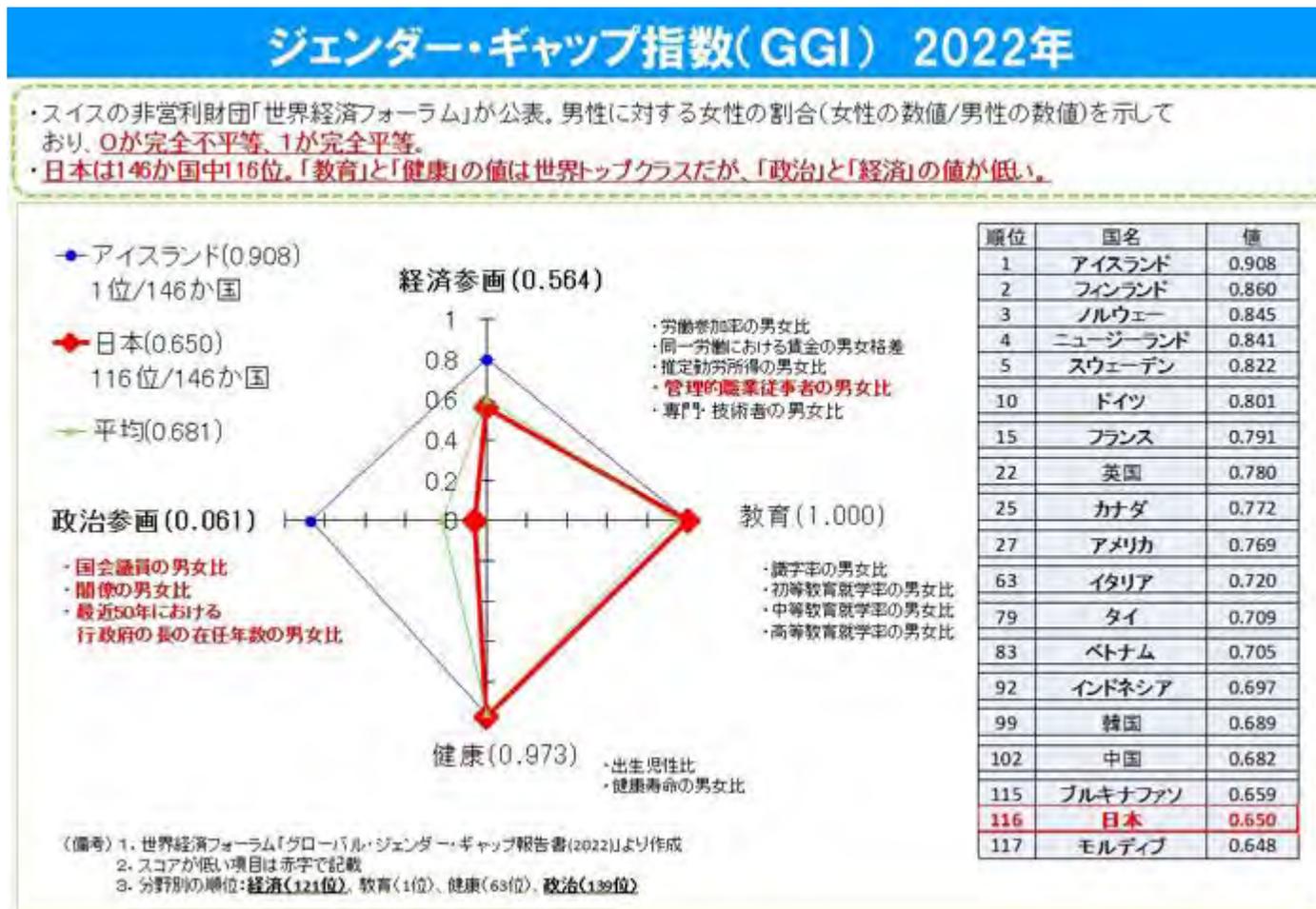
- 1981年 長野県須坂市生まれ
- 2004年 慶應義塾大学法学部政治学専攻卒業
NPO法人、ITベンチャー、外資系メーカーを経て、
- 2012年 結婚、飛騨市に移住
- 2017年 通訳案内士として活動を始める
- 2021年 (株)M&Company設立



- 地方が直面する若い女性の流出は「**地方の男性化、都会の女性化**」
- その根本的な要因は**地方のジェンダーギャップの大きさ**
- リベラルで多様な価値観を持つ女性たちが都会に逃げていき、保守的な女性だけが地方に残る構造はやがて地方を滅ぼす
- 地方が多様な女性をいかに取り戻せるか
- **正規・非正規、賃金格差、男性の家事参加**を切り口とした論文と事例集

基調論文

「若い女性は、なぜ消えるのか？」概説



✓ ジェンダーギャップの「国家レベル」での大きさは指摘されているが国内における地域ごとのギャップの大小は焦点化されていなかった

日本における

地域間格差はあるのか？

地方 > 都会

女性の政治参画マップ 2021

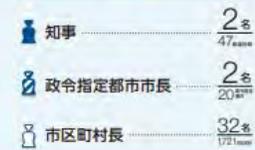
都道府県議会における女性議員の比率

都道府県	議員 議員数(人)	女性議員の比率(%)	
		うち女性(人)	
東京都	127	41	32.3
京都府	60	13	21.7
神奈川県	104	19	18.3
滋賀県	42	7	16.7
兵庫県	85	13	15.3
岩手県	48	7	14.6
埼玉県	89	13	14.6
沖縄県	48	7	14.6
岡山県	55	8	14.5
鳥取県	35	5	14.3
静岡県	68	9	13.2
千葉県	92	12	13.0
長崎県	46	6	13.0
栃木県	47	6	12.8
宮城県	55	7	12.7
長野県	56	7	12.5
三重県	50	6	12.0
秋田県	43	5	11.6
新潟県	52	6	11.5
北海道	98	11	11.2
徳島県	36	4	11.1
宮崎県	38	4	10.5
富山県	39	4	10.3
福岡県	87	9	10.3
鹿児島県	49	5	10.2
奈良県	41	4	9.8
山口県	44	4	9.1
愛媛県	45	4	8.9
福島県	57	5	8.8
岐阜県	46	4	8.7
高知県	35	3	8.6
群馬県	47	4	8.5
山形県	42	3	7.1
和歌山県	42	3	7.1
石川県	43	3	7.0
大阪府	87	6	6.9
茨城県	59	4	6.8
青森県	47	3	6.4
福井県	35	2	5.7
佐賀県	36	2	5.6
高知県	37	2	5.4
愛知県	99	5	5.1
香川県	40	2	5.0
広島県	63	3	4.8
大分県	43	2	4.7
熊本県	48	2	4.2
山梨県	36	1	2.8
全国合計	2,621	305	11.6

市区町村議会における女性議員の比率



首長



我が国の有権者の51.7%は女性であり、政治分野における女性の参画拡大は、政治に民意を反映するため極めて重要です。平成30年には議会議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す法律が施行され、令和3年には、国や地方公共団体のハラスメント対策等の施策の強化等を盛り込んだ改正法が施行されました。

全国平均 11.6%



国会議員の女性比率

衆議院の女性議員比率 9.9%

参議院の女性議員比率 23.0%

世界の女性議員比率

スウェーデン 47.0% (7位)

イギリス 34.0% (40位)

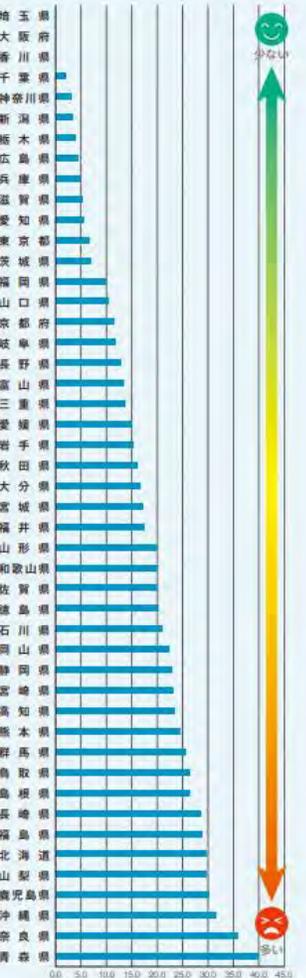
アメリカ 27.4% (65位)

フランス 39.5% (27位)

ドイツ 31.5% (49位)

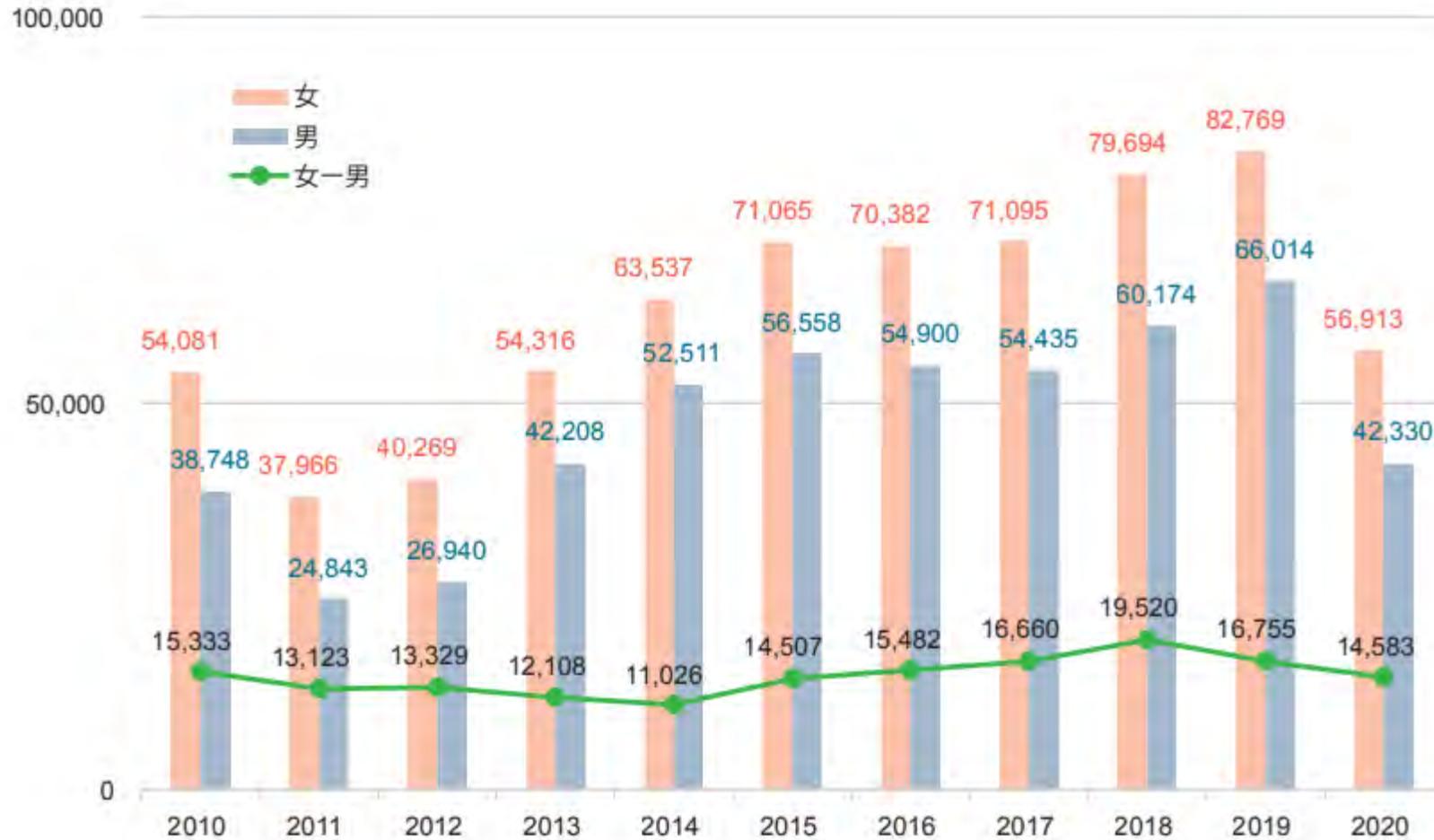
日本 9.9% (164位)

女性がゼロの市区町村議会の比率



✓ 岐阜県は全国平均以下

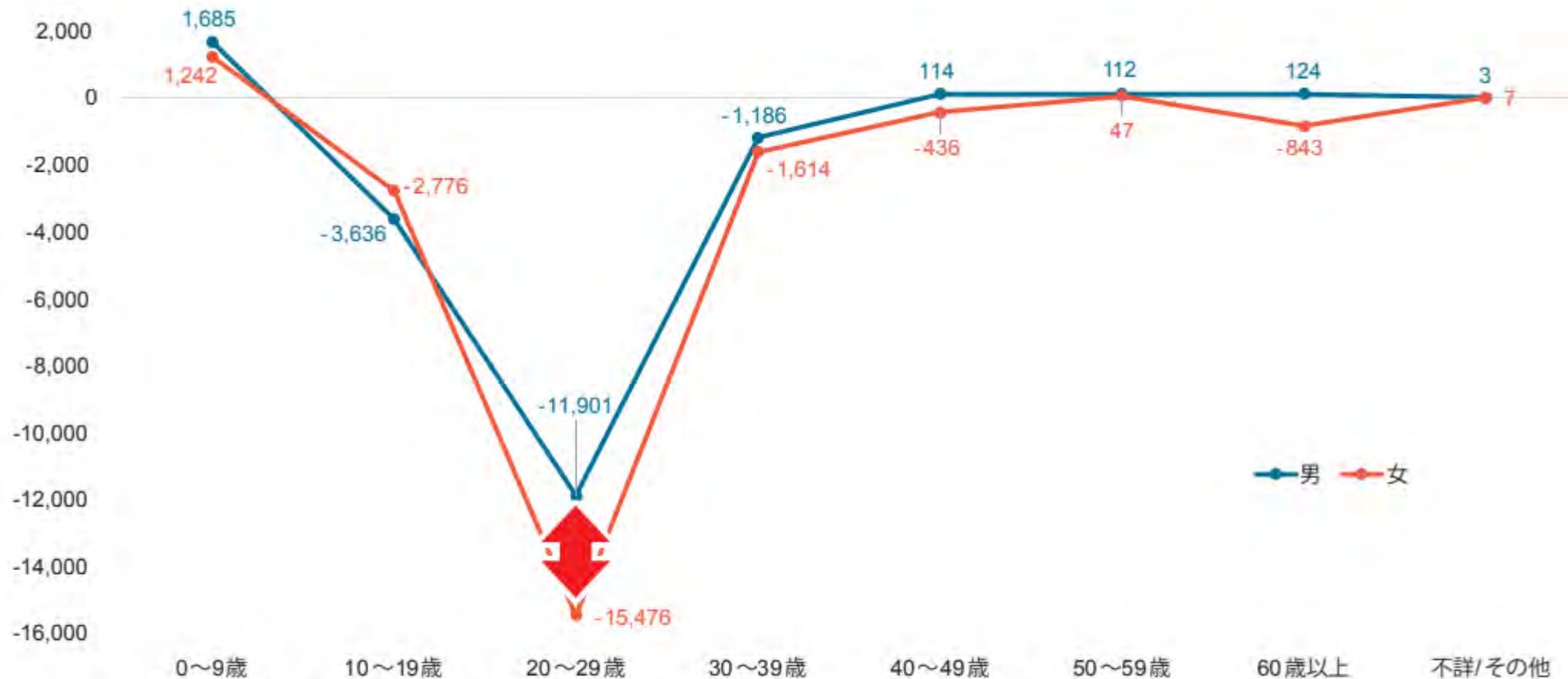
岐阜県の人口動態



図表3 東京圏への転入超過数の推移

出所:総務省「住民基本台帳人口移動報告」

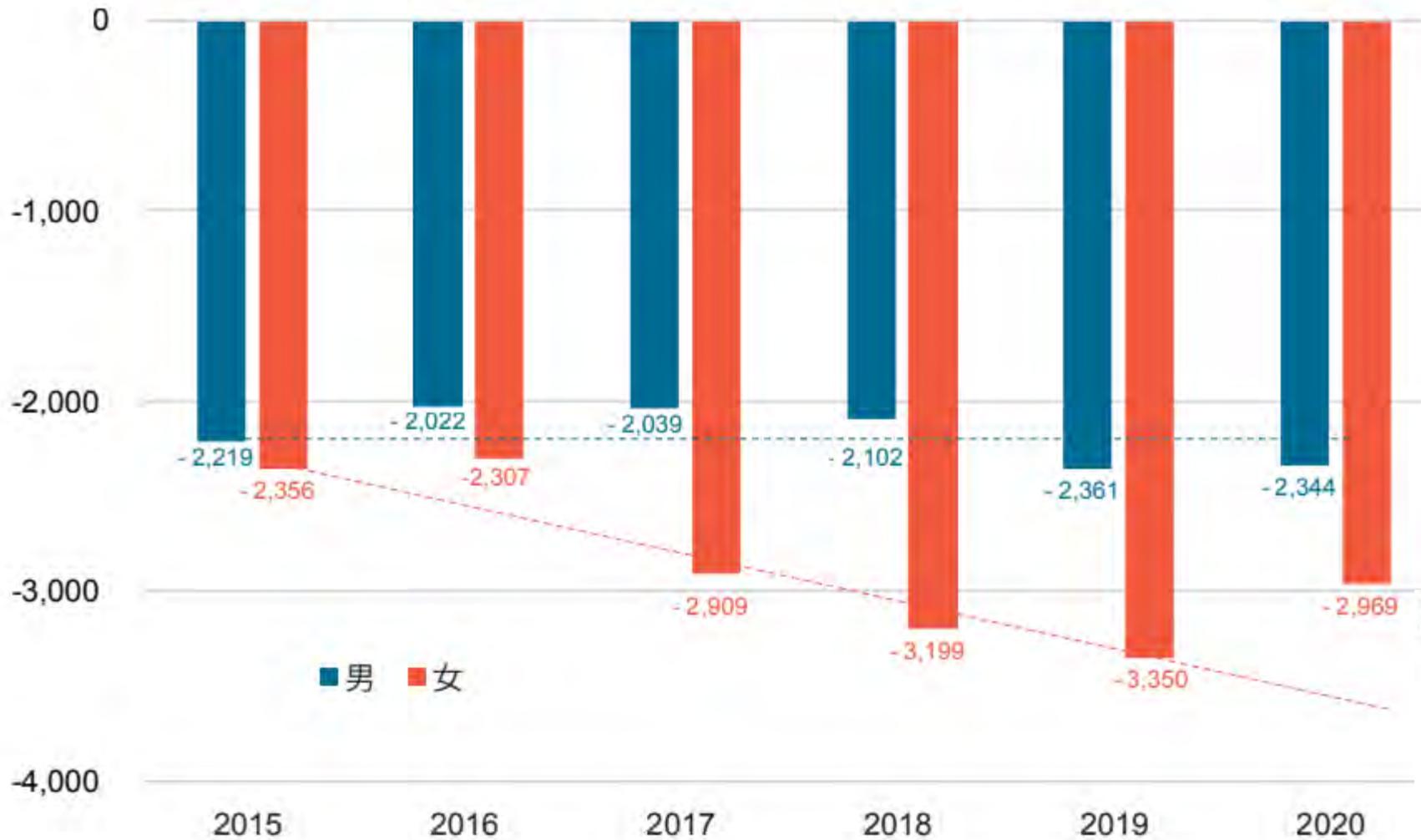
✓ 岐阜県から東京圏への人口移動の主役は女性



図表 4 岐阜県の男女別・年齢（10歳階級）別の転出超過数（2015～2020年の合計）

出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」 ※転入超過がプラス、転出超過がマイナス

✓ 10～30代、とりわけ20代の女性が都市に引き付けられる

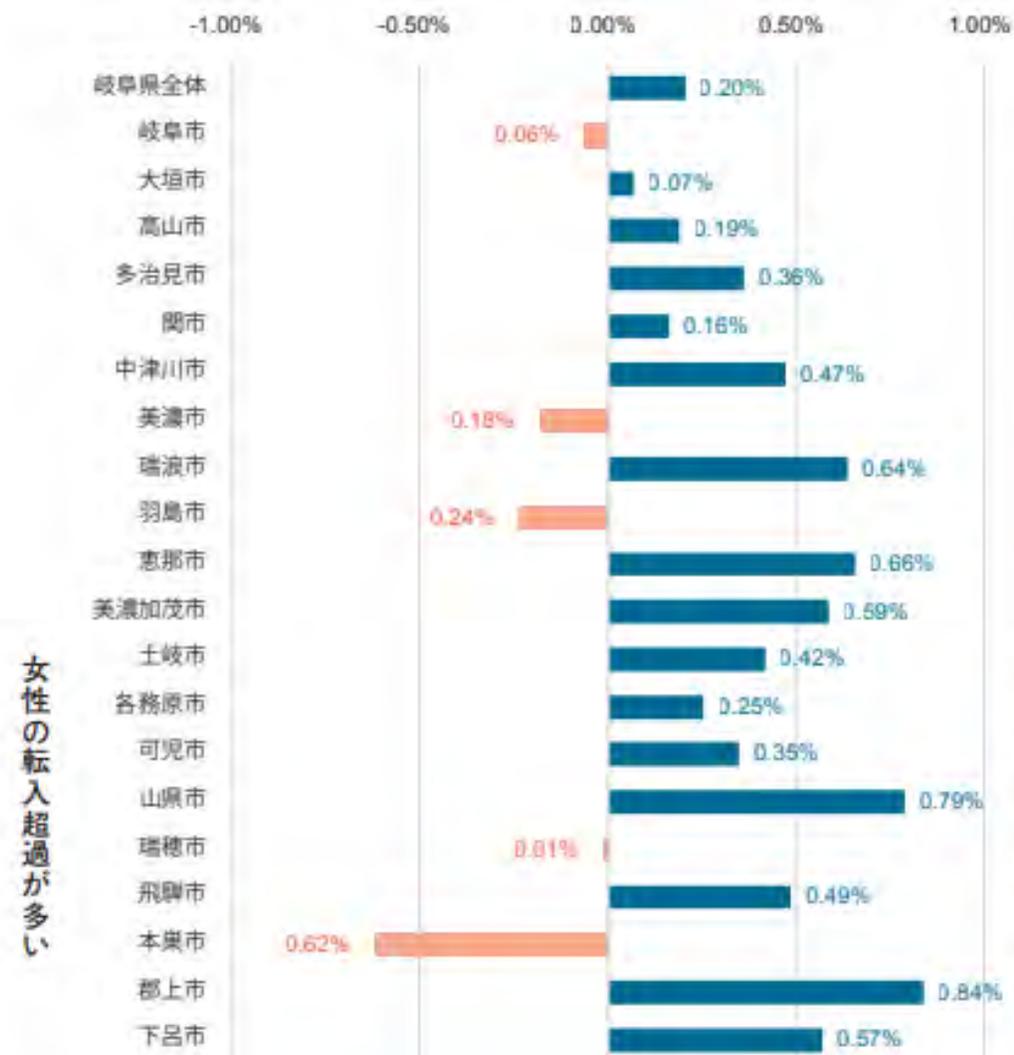


図表 5 岐阜県の20～30代男女の転出超過数（2015～2020年）

出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」
 ※転入超過がプラス、転出超過がマイナス

✓ 20～30代女性の転出超過傾向はより強まっている

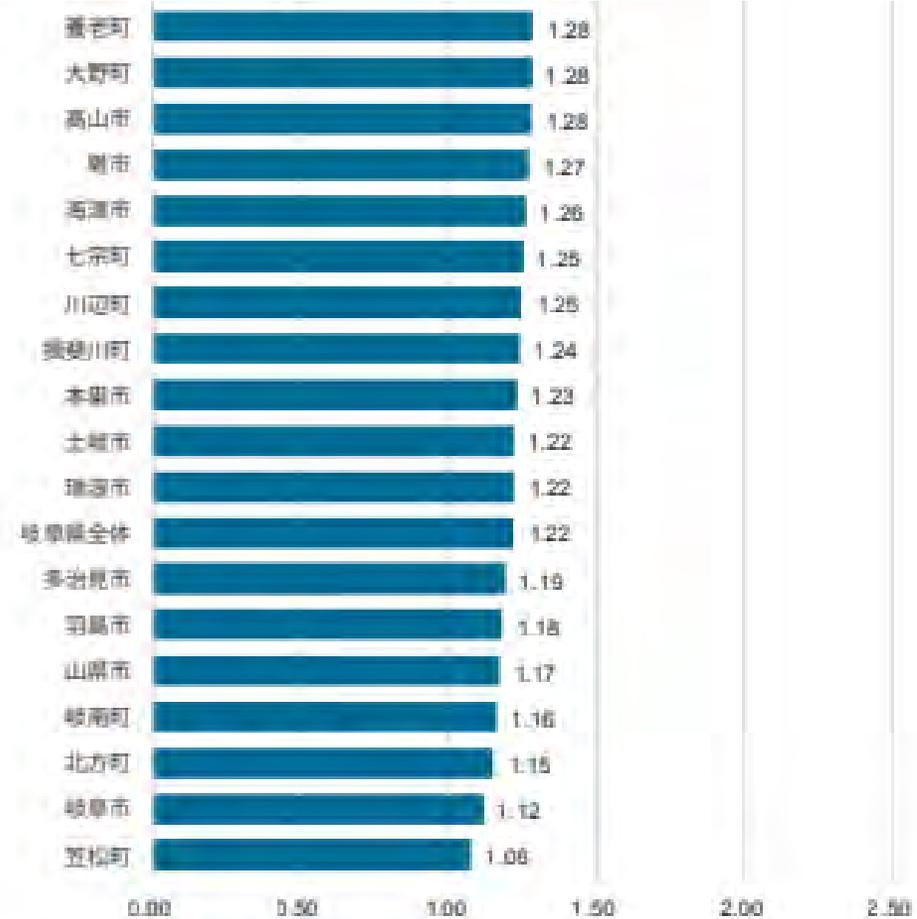
市町村レベル：転入超過率の男女差



✓ 岐阜県の大半の市町村は女性に逃げられている

図表6 岐阜県下42市町村の転入超過率の男女差
出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

市町村レベル：適齢期の未婚男女比



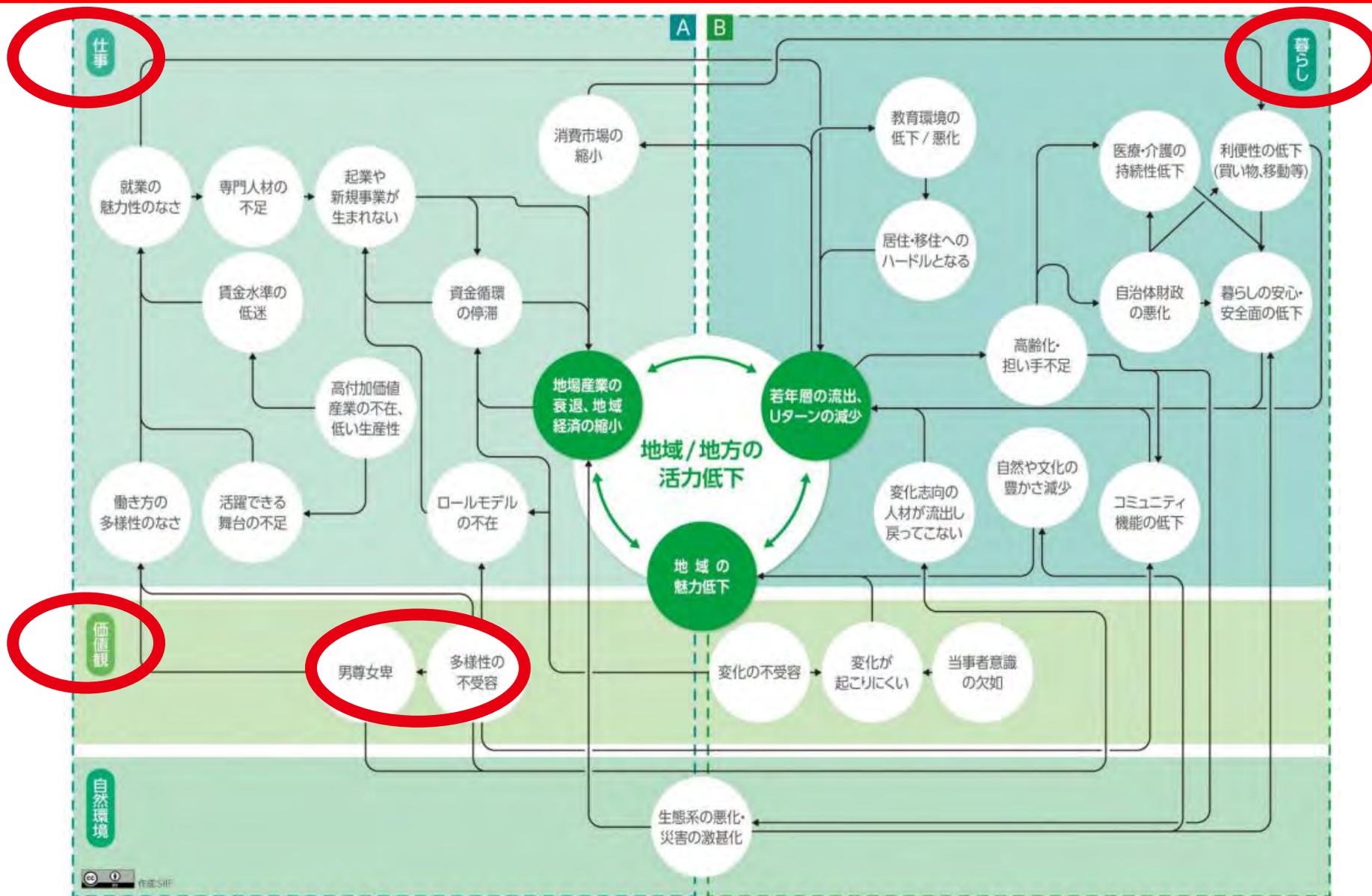
図表7 20～39歳の未婚者の男女比：未婚女性1人に対し未婚男性が何人いるか

出所：「平成27年国勢調査」

✓ 男女比は本来、1:1～1.1:1に収斂するはずだが
そうならない理由がある

**地方のジェンダーギャップは
可視化の作業を待たず
人口動態で現れつつある**

SIIF 課題構造マップ「地域活性化」



肉眼で見える（仕事・暮らし）

の下に隠された

「価値観の不変容」が

地域衰退の根底要因

地方のジェンダーギャップ

再生産のしくみ



地方



性別役割分業モデル

リベラルな女性が流出
保守的な女性が残る

相対的に高い出生率

ジェンダーギャップの
大きな構造が再生産され
「男性化」する地方

大都市



共稼ぎ共育てモデル

子育て環境が乏しい都市に
女性が流入し出生率低下

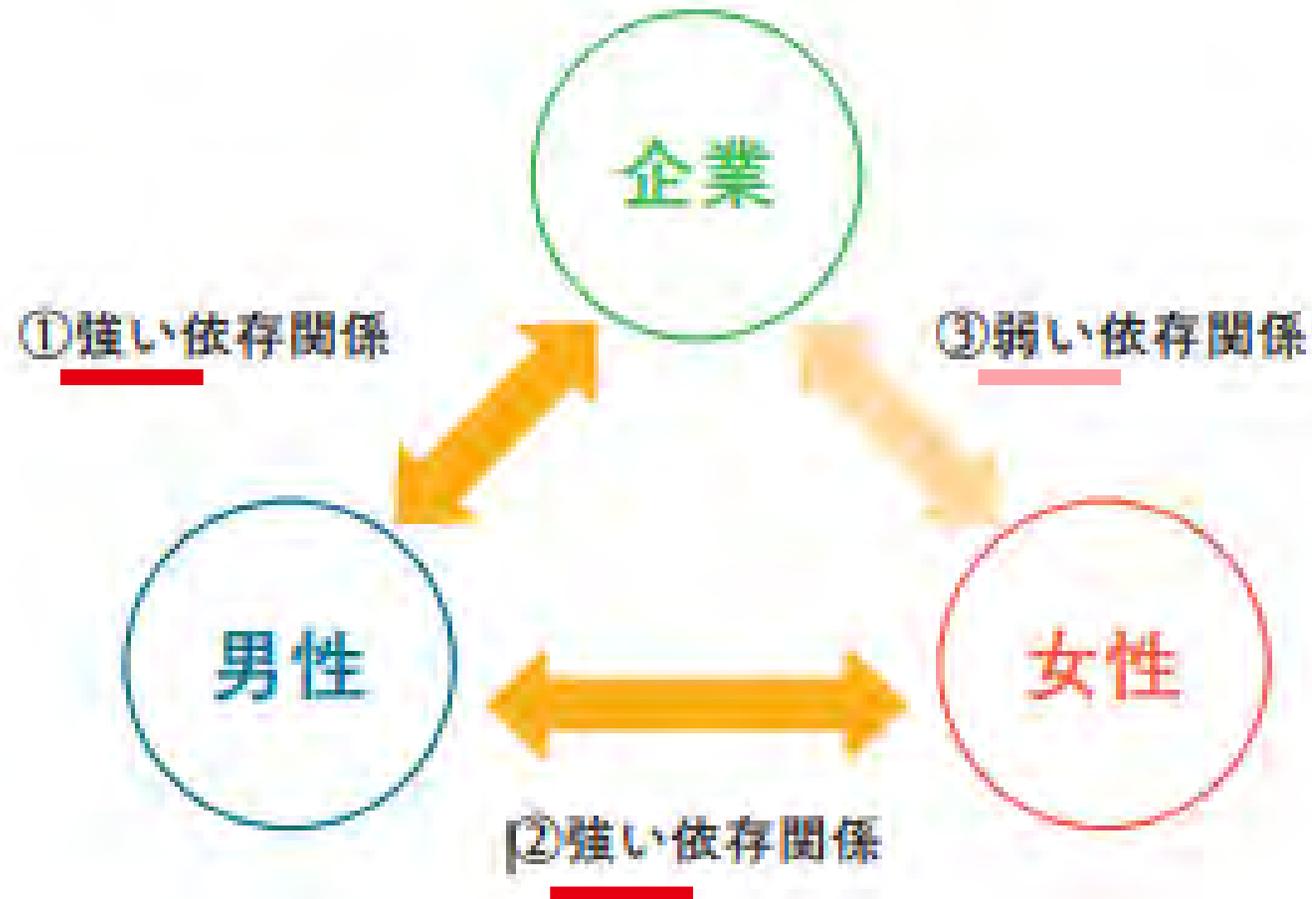
相対的に低い出生率

リベラルな女性が
一極集中する
「女性化」する大都市



ジェンダーギャップの

背後にある 3 者の構造



図表 10 性別分業社会の経済構造

出所:川口章(2013)「日本のジェンダーを考える」, p.138



- ✓ 性別役割分業意識の再生産サイクルが仕上がっている構造では女性だけが努力しても状況を変化させられない
- ✓ 地方で変わらなければいけないのは、強い関係を2つ持つ男性の意識

ジェンダーギャップ

解消を阻む 3つの問題

(1) 家族・家庭というプライベート空間に踏み込む必要

(2) 変化を望まない女性たちの存在

(3) 技術革新という変化の先導役の不在

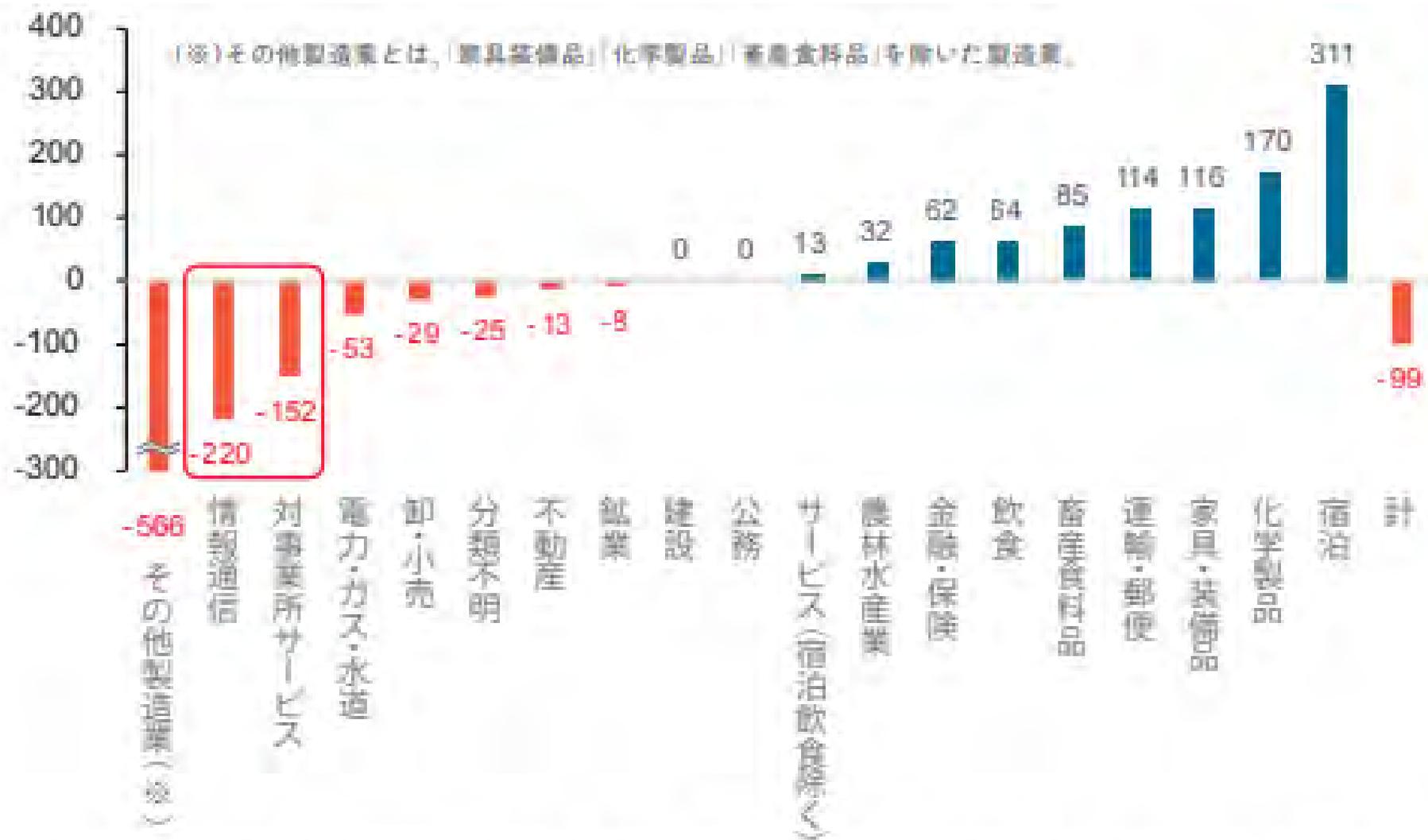
ジェンダーギャップ

解消への経路

提言①

女性のクリエイティブな仕事を
地方に作る

女性のクリエイティブな仕事を地方につくる



図表 13 高山市の部門別市際収支 (単位: 億円) 出所: 高山市産業連関表 (平成26 (2014) 年基準)

クリエイティブ産業とは



図表 14 クリエイティブ産業の例（筆者作成）

- ✓ 地方は、クリエイティブな仕事に関して「双子の赤字」の状態
- ✓ アンバンドリングが進行し、東京一極集中の必然性が解体された産業
- ✓ 時間や場所の制約がなく、子育て中の女性にとって就きやすい職業

株式会社リーピー（岐阜市）



CORPORATE PROFILE

代表取締役 川口 聡

本社住所 〒500-8891 岐阜県岐阜市香蘭3-7

事業内容 Web制作事業(ホームページ制作・印刷物のデザイン・撮影・プロモーション)
Webサービス事業(Web上で使用するアプリの自社開発・サービス提供)

創業 2013年10月

従業員数 38名(うち男性13名、女性25名)(2022年1月現在)

売上高 2.6億円(2021年9月期)

提言②

あらゆる家族の形を
受け入れる

提言③

ジェンダーギャップは

我々の想像よりも

スケールが大きい



図表 15 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」戦略体系図(概要版)

出所：豊岡市ホームページ <https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/keikaku/1016772.html>

「女子に向ける眼差し次第で
地方はもっと選ばれる」



萩原論文：「なぜ**男性の家庭進出**は進まないのか」

高木論文：「男女間の**賃金格差の中身**は何か」

藤木論文：「なぜ、**正規・非正規の境界**はなくならないのか」

野田聖子 前女性活躍・地方創生担当大臣とのディスカッション@弊社



① 地方「女子」からの支持

② 地方男性からの沈黙

③ フェミニストからの反発

「女性の社会進出」

の前に

「男性の家庭進出」



男性の意識変容が問われる

「女子」に 選ばれる 地方

十六総合研究所
提言書
2022



ご清聴ありがとうございました！

田代 達生

<https://www.kanmachi.co.jp/>